

要介護5まで保険給付外し？

矛盾いつそう深まる

要支援者向けの「介護予防
・日常生活支援総合事業」の
対象を要介護5の人まで拡大
して、要介護者の介護保険給
付外しを可能にする「省令改
正」の介護保険制度改変に驚
きの声広がっています。

2014年の 介護保険法改悪以後

2014年の介護保険法改悪
で、要支援の訪問・通所介護を保
険給付から総合事業へ移行。当初
宣伝されたボランティアなど
による多様なサービスの提供は進
まず、報酬単価が低いため事業者
の撤退も相次いでいます。介護保
険料を毎月払っても、サービスを
受けられない状況が各地で広が
っています。

(3)
今回、厚労省が進めようとして
いる要介護1〜5すべてで、総合

事業を使えるようにする一番の
狙いは、要介護者の日常生活を支
援する訪問介護の「生活支援」を、
ヘルパーや介護福祉士といった
専門職から、ボランティアなど無
資格者に置き換えることにあり、
安上がりな無資格者に移すこと
で社会保障費を抑制しようとする
考えです。

この背景には、厚労省は介護を
「家事の延長」ととらえ「生活援
助」に専門性など必要ないという
間違った認識があります。(K)

ご協力ありがとうございました

介護部会で7月に実施しました
「介護保険サービス利用アンケート」は、294枚の配布で217枚
の回答(73.8%)が、ご本人とご
家族から寄せられました。

結果内容につきましては、現在
集約を進めておりますので11月
の「ほほえみ」でご報告させていた
だきます、よろしく願いいたし
ます。(事業所利用委員会)

草津北支部 さくら班

ソーシャルディスタンスを守ってウォーキング!

秋晴れの心地のいい季節、せっかくの班会だし「ウォーキング
しましょう!」と班長さんと話して即決!!いつも通り班長さん
宅に集まって健康チェックと検温から開始です。「えっ!34℃し
かないわ」「34℃が平熱なら36℃になったら倒れるわ」と検温だ
けでも賑やかです。健康チェックのあとは、草津の天井川跡のde
愛ひろばまで、皆さんで歩きました。

秋の空と、気持ちのいい風、あちこちに燃えるような赤い花を
咲かせている彼岸花を見ては「きれいやね〜」「はさみ持ってきた
ら良かった」と。一旦停止の取り締まりをしているお巡りさんと
遭遇した時も「ここは危ない!」「向こう側にも標識いるで」「し
っかり取り締まって」等々、お巡りさんにご意見?ご指導?の
数々。

80代の方が多いた
くら班の皆さんですが、
皆さんココロもカラダ
もお元気そのもの40
代の私が「歩行車に乗
せてもらい!」「引っ
張ってあげよか?」と
声をかけていただきま
した。(池)



ほほえみ歌壇(俳句) 俳句サークル(第4金曜日)

いたづらな風にとまどふ猫じゃらし 山元 文子
爽やかや鳩きて遊ぶ寺の門 西村 雅尾
ご笑覧あれと秋の句送られし 吉田 正明
魂の抜けし案山子の雨曝し 木村 三醒

おはぐろやしおからトンボまだアカネ 稲森 善稔